

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLiebe常普請(第二単位)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	時間の使い方、配分などの自己選択を尊重した過ごし方ができるよう支援を行っている。	・来所時、ホワイトボードと予定が記されたマグネットを使用し、利用中の予定を視覚的に設定し、見通しを立てやすくしている ・帰宅時間やパソコン開放時間など共通事項の予定を毎日提示し、予定の把握しやすくしている	・ホワイトボードに自身で時間を記載してもらうことを意識してもらい、より明確なスケジュールが出来るようにしていく ・「休息」の予定では具体的に何をしておこなうかを記載する機会を設けていき、過ごし方の具体性を高めていく
2	支援エリアを広く設けてあり、必要に応じて空間を分けて過ごすことができる。	・ご利用者様の心身の状況に応じて、リラクゼーションルームを使用し静かな環境で過ごしてもらうなど、個々に対応した過ごし方を提供している ・学習エリア、パソコン使用エリアなど区画分けを明確化することで過ごす場所、過ごし方のTPOへの意識づけを行っている	・継続してご利用者様個々に寄り添った支援を提供できるようエリア設定に努めていく ・パーテーションの併用も検討していき、学習時のパーソナルスペースの確保を行っていく
3	送迎を柔軟に対応できている。	・授業直後のお迎えのみでなく、部活後のお迎えや一度帰宅し着替えたのちのお迎え、駅へのお迎えなど個々のニーズに合わせた送迎を行っている ・自力通所のご利用者様に対し、雨天時は送迎対応に当日変更するなど、利用を気兼ねなくできるよう心掛けている	・保護者様との連携に加え、学校との連携を強めていき、送迎が利用の障壁とならないよう努めていく ・本人との連絡手段を検討していき、突発的な事由に対しても対応が取れるように図っていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が乏しい。	・法人内で完結するイベントが多く、地域交流する機会が乏しい ・放課後児童クラブとの連携が乏しく、参加するための関係性構築ができていない ・地域の子どもたちとの交流を目的とした活動プログラムを提案できていない	・お祭りなど地域行事への参加を活動しプログラムしていき、参加を図っていく ・連絡、連携を図っていき、児童クラブそのものとの関係性を構築していく ・「地域交流」を目的とした活動プログラムを考案し、提供していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等による、保護者同士の交流の機会が乏しくなっている。	・年間を通した定期的な開催予定が立てられていない ・保護者様との日程調整の難しさがみられる	・年間スケジュールとして予めの日程を想定し、開催の準備を行っていく。 ・日時、場所が定まった際はご家族様に連絡を早い段階で行い、周知を図っていく
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が乏しい。	・年間を通した定期的な開催予定が立てられていない ・研修会などを開催する為の準備(ご家族様がどのような情報を求めているかのニーズ確認など)が不十分な状態となっている	・年間スケジュールとして予めの日程を想定し、開催の準備を行っていく ・開催時は複数日開催できるよう準備を行い、多くの保護者様が参加できるようにセッティングを行う ・面談、LINEによる連絡などを通してご家族様のニーズの確認を都度確認していく